

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2024年3月期

レイズネクスト株式会社

目 次

1. 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について	・ ・ ・ 3	3. 2025年3月期業績見通し	・ ・ ・ 15
1) 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について	・ ・ ・ 4	1) 業績見通し	・ ・ ・ 16
2) 株価・PBR推移	・ ・ ・ 5	2) 受注高および完成工事高	・ ・ ・ 17
2. 2024年3月期決算	・ ・ ・ 6	3) 2024年3月期配当予定 および2025年3月期配当予想	・ ・ ・ 18
1) 事業環境	・ ・ ・ 7	4. 第2次中期経営計画 (2023年度進捗について)	・ ・ ・ 19
2) 業績概要	・ ・ ・ 8		
3) 受注高	・ ・ ・ 9		
4) 完成工事高	・ ・ ・ 10		
5) 完成工事総利益・営業利益	・ ・ ・ 11		
6) 当期純利益	・ ・ ・ 12		
7) 受注残高	・ ・ ・ 13		
8) 貸借対照表	・ ・ ・ 14		

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

1) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（2月9日開示）

- R O E は8%以上で推移
- 良好な収益性
（純利益70億円以上を継続的に維持）

- 持続的な成長可能性の周知不足
- 低い株式流動性
（個人投資家による保有が限定的）

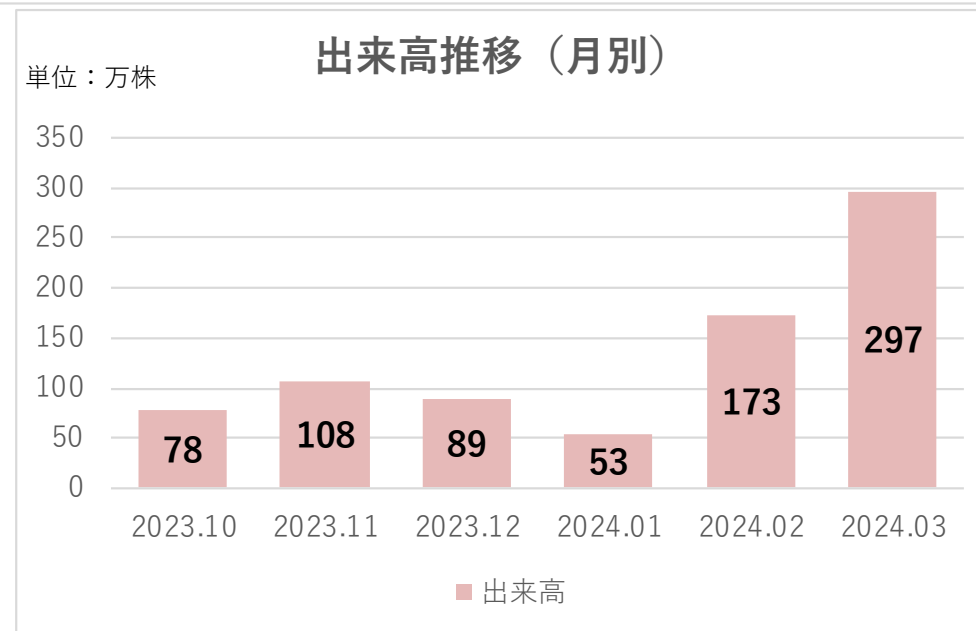
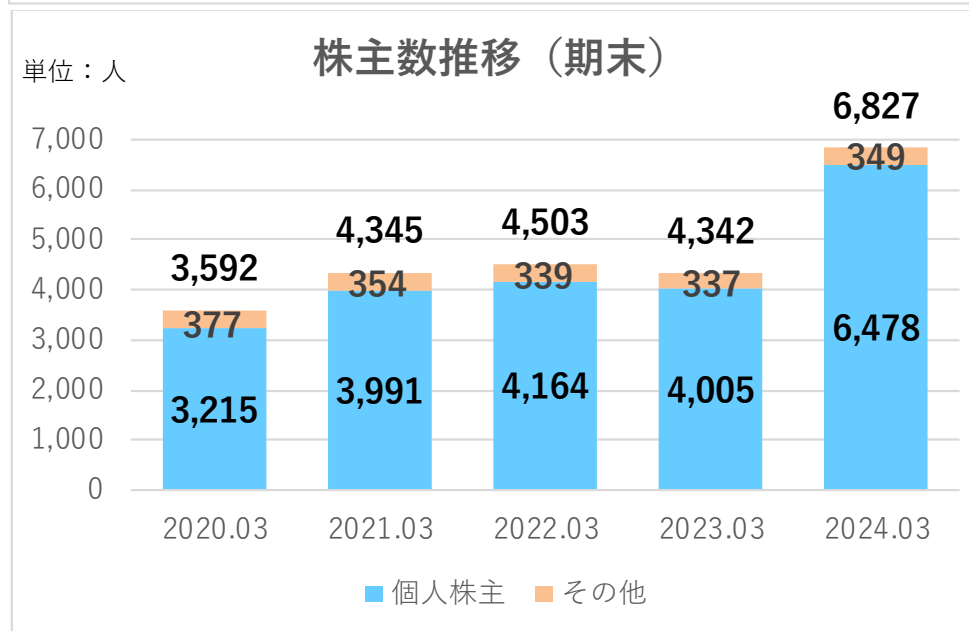
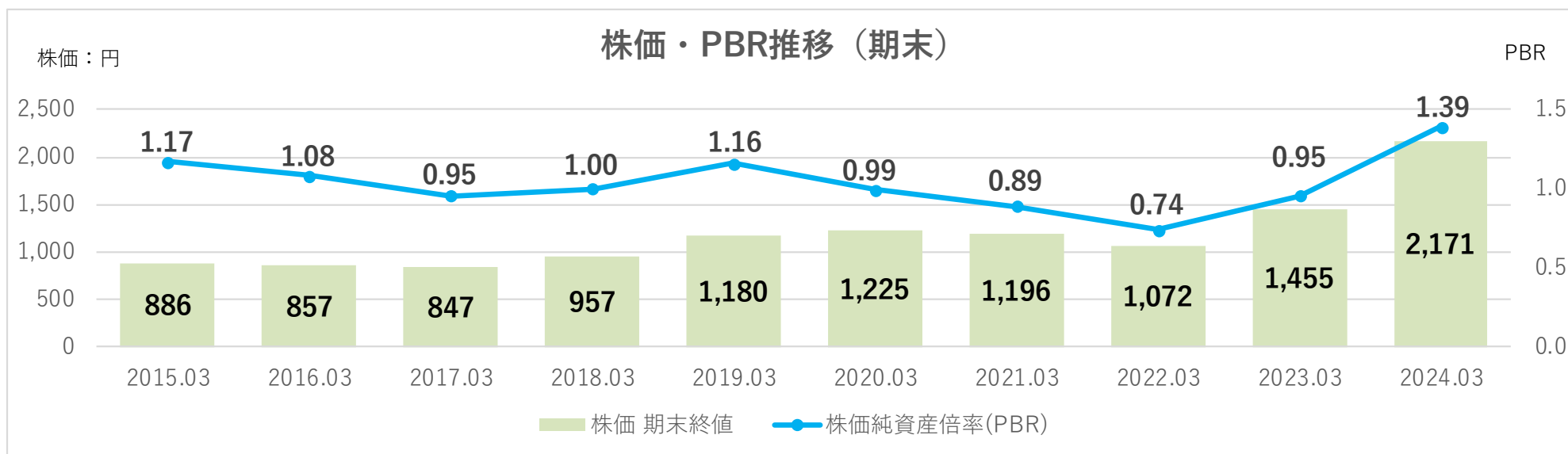
当社の課題

長期的に R O E 10%以上を目指すために

項目	具体的な取り組み
収益性の向上	・メンテナンス事業での安定した収益確保と成長分野への積極的な取り組み ・人的資本投資および DX、ICT 化による労働生産性の向上
資本効率の向上	・政策保有株式の継続的縮減 ・賃貸不動産・遊休不動産の売却
株主還元の充実	・60%以上の連結配当性向を目標 ・特別配当の実施
I R 活動の強化	・当社の事業戦略に関する情報開示・発信の強化 ・個人投資家拡大に向けた取り組みの実施

2) 株価・PBR推移

- 2024年3月末の株価は2,171円に上昇、PBRは1.39に改善（5月21日時点では1.18）
- 2024年3月末の株主数や2024年3月分の出来高も増加



2. 2024年3月期決算

1) 事業環境

➤ 2020年10月、政府が「2050年カーボンニュートラル宣言」を発表

●石油業界

石油製品の構造的な需要減少により製油所の統廃合（閉鎖）が進行

⇒製油所を太陽光発電所/SAF等の再生可能エネルギー製造工場や合成燃料等の低炭素燃料製造拠点へ機能転換…新たなプラント建設需要の発生

●電力業界

脱炭素に向け新たにアンモニア混焼、水素発電設備の導入

⇒設備改造や発電所へのアンモニア/水素の供給インフラの建設需要の増加

●一般化学、非鉄金属業界

脱炭素社会実現に向けた半導体製造に関する高機能材や電子材料の需要が旺盛

⇒新たな化学プラントや電子材料工場建設需要が増加

●建設業界

工事従事者の不足の顕在化や時間外労働上限適用の導入に伴う対応

メンテナンスでの安定した収益確保と成長分野への積極的な取り組みを継続

2) 業績概要

- 受注高は期初予想より増加、完成工事高および営業利益、経常利益は若干減少、当期純利益は特別利益を計上したことから期初予想より若干増加

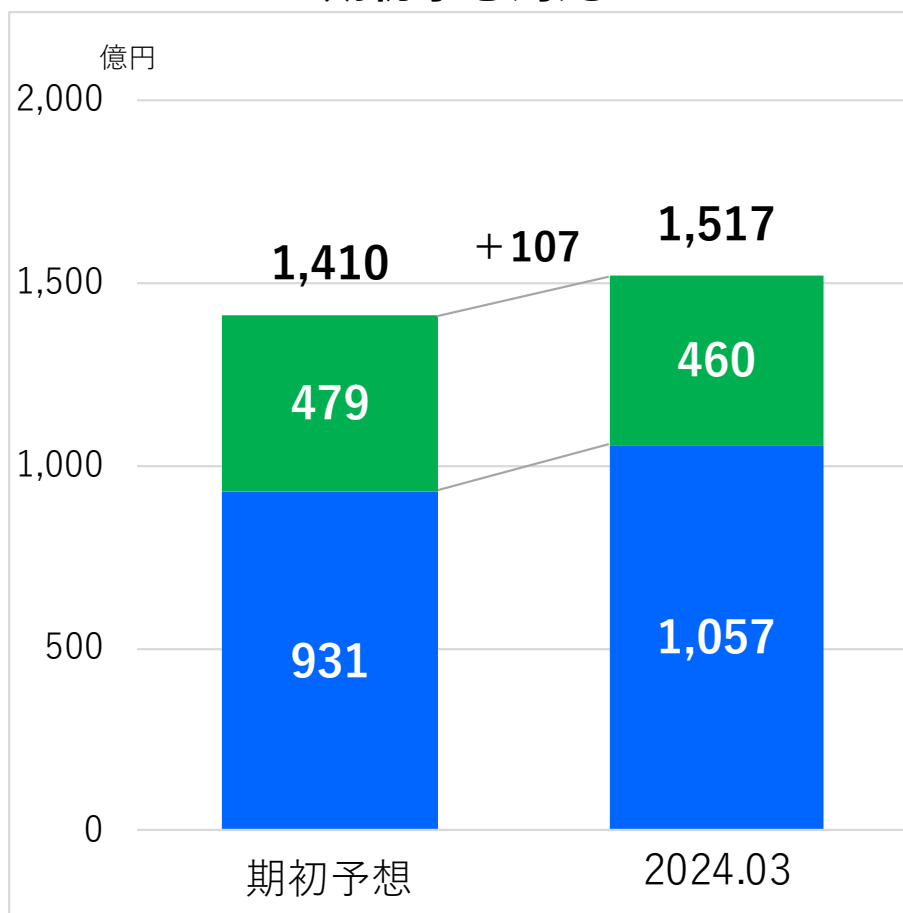
(参考) (単位：億円)

	期初予想	2024.03	増減	増減率	前期（2023.03）との差異		
					前期比	増減率	
受 注 高	1,410	1,517	+107	+7.6%	1,388	+129	+9.3%
完 成 工 事 高	1,410	1,403	-7	-0.5%	1,400	+3	+0.2%
完 成 工 事 総 利 益	181.0	172.0	-9.0	-5.0%	180.5	-8.5	-4.7%
(率)	12.8%	12.3%	-0.5%	—	12.9%	-0.6%	—
販 管 費	78.0	72.3	-5.6	-7.3%	71.3	+0.9	+1.3%
営 業 利 益	103.0	99.6	-3.4	-3.3%	109.1	-9.5	-8.7%
(率)	7.3%	7.1%	-0.2%	—	7.8%	-0.7%	—
経 常 利 益	106.0	102.6	-3.4	-3.2%	112.4	-9.8	-8.7%
(率)	7.5%	7.3%	-0.2%	—	8.0%	-0.7%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	71.0	72.4	+1.4	+2.0%	77.4	-5.0	-6.5%
(率)	5.0%	5.2%	+0.2%	—	5.5%	-0.3%	—

3) 受注高

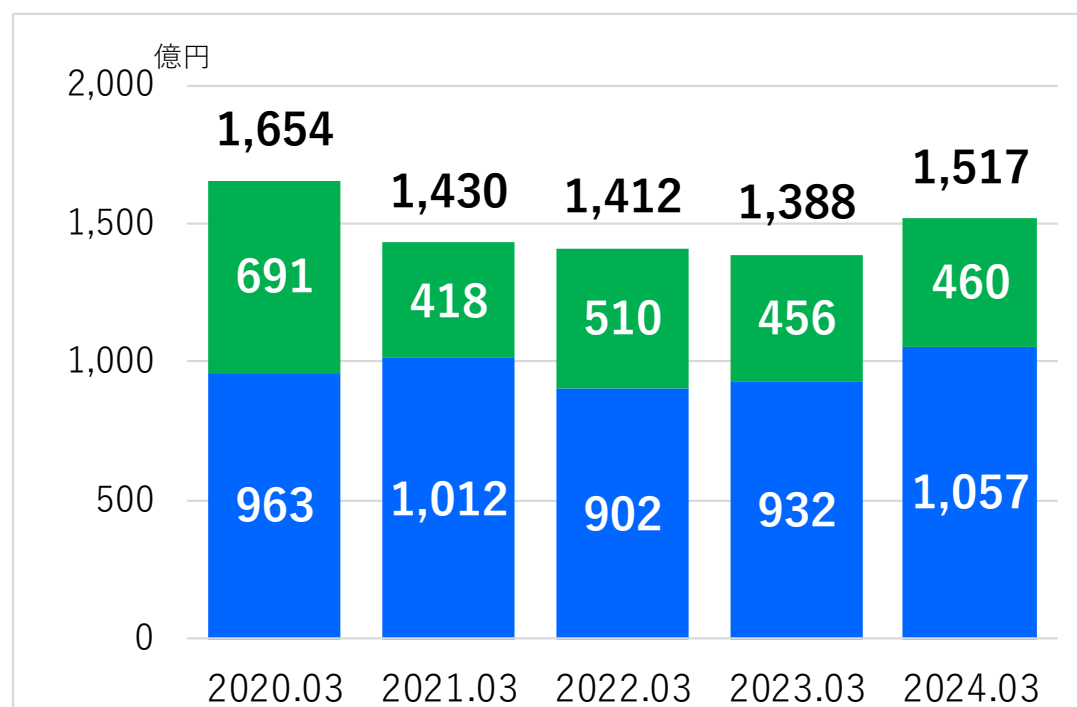
- メンテナンスでは、定期修理工事の工事量の増加により期初予想を上回る
- エンジニアリングでは、大型工事の計上があったが、顧客の計画延期などにより期初予想を下回る

期初予想対比



5カ年推移

- メンテナンスは、概ね900億円～1,000億円で推移
- エンジニアリングは、概ね400～500億円で推移
- 受注高全体は、概ね1,400～1,500億円で安定的に推移



■ メンテナンス ■ エンジニアリング

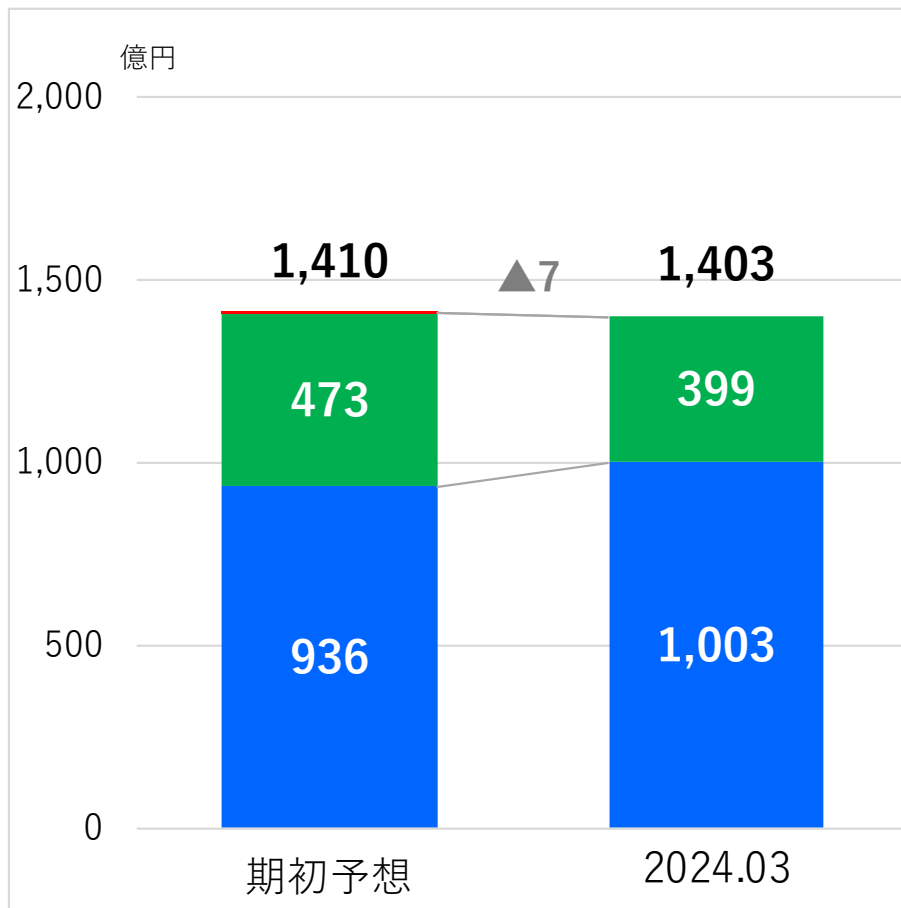
特記事項

①2020年3月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高を受注高として計上したものを含む。

4) 完成工事高

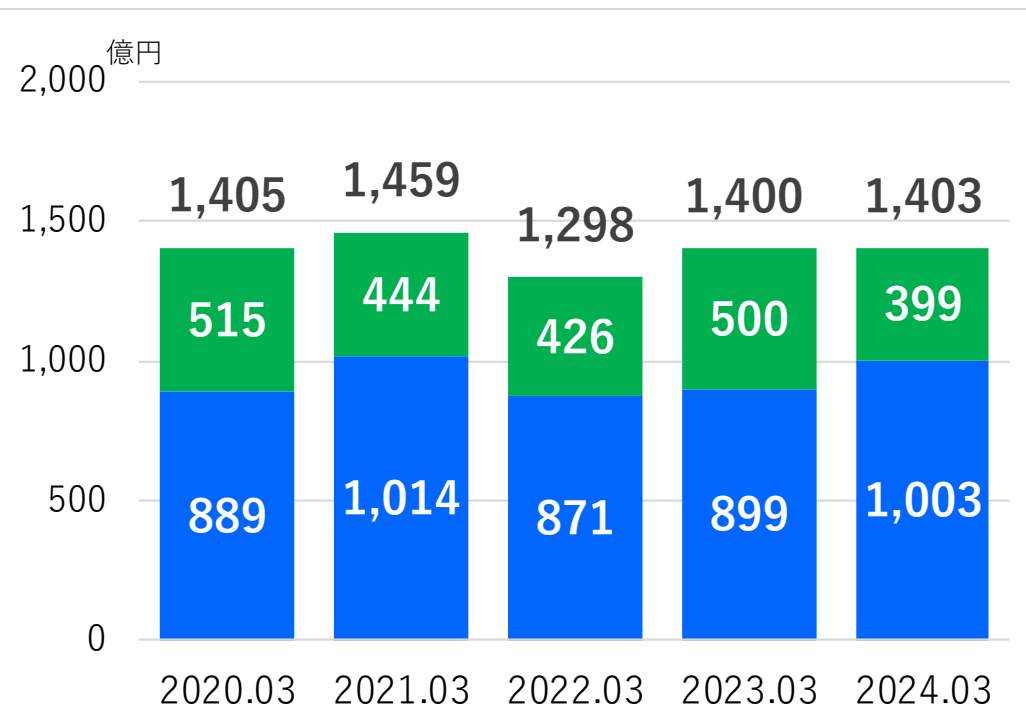
- メンテナンスでは、定期修理工事での追加工事の増加などにより期初予想を上回る
- エンジニアリングでは、期ずれなどにより期初予想を下回る

期初予想対比



5カ年推移

- メンテナンスは定期修理工事の周期により変動
- エンジニアリングは受注と同様に安定的に推移
- 完成工事高全体はメンテナンスと同様の傾向

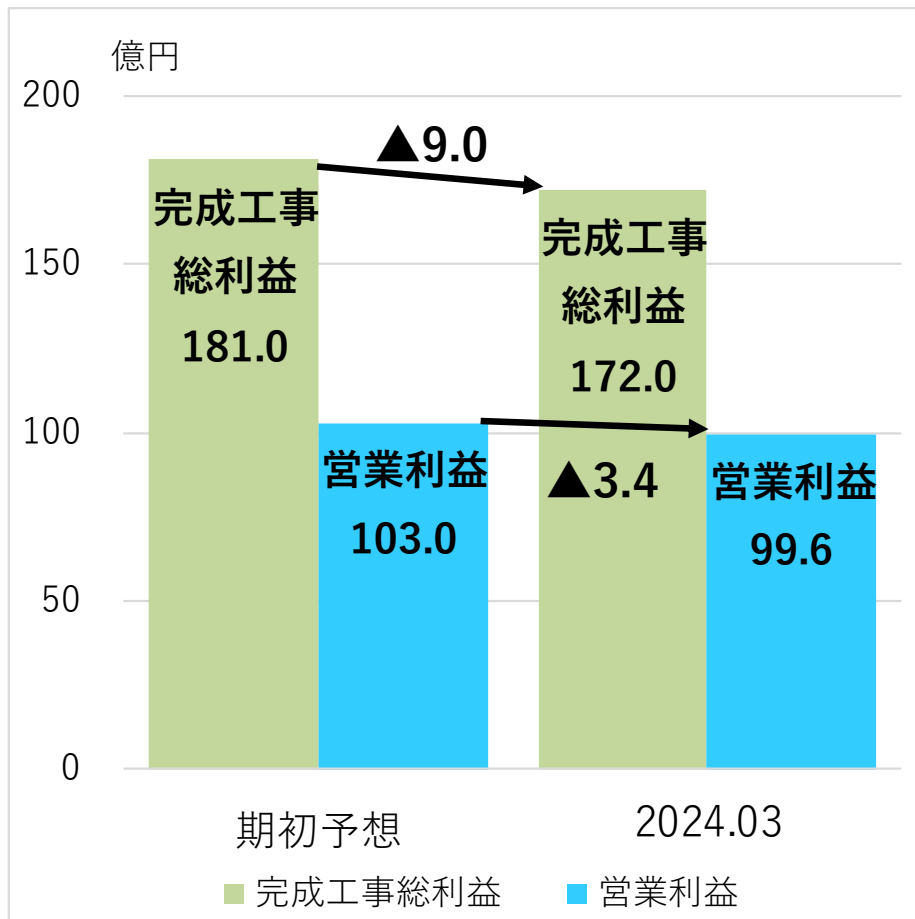


■ メンテナンス ■ エンジニアリング

5) 完成工事総利益・営業利益

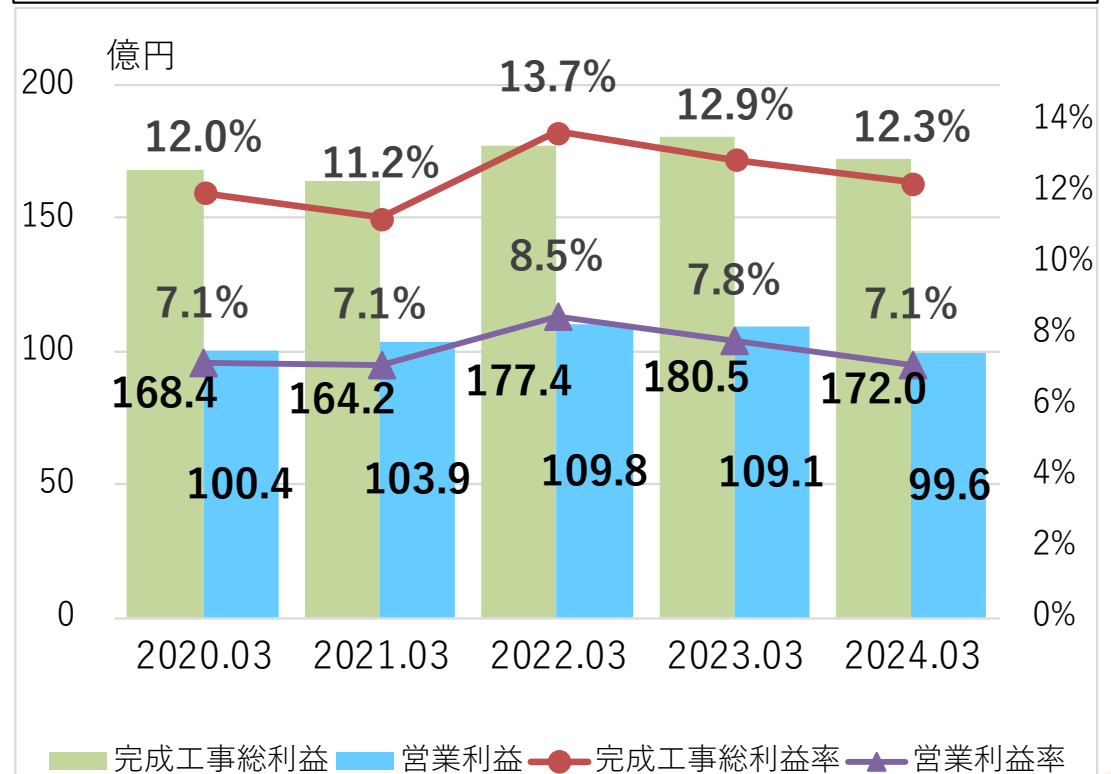
- 総利益および営業利益は期初予想を若干下回る
- 原価回収基準売上の増加の影響により、総利益率は期初予想を下回ったが、原価回収基準の売上を除外した総利益率は期初予想どおり

期初予想対比



5カ年推移

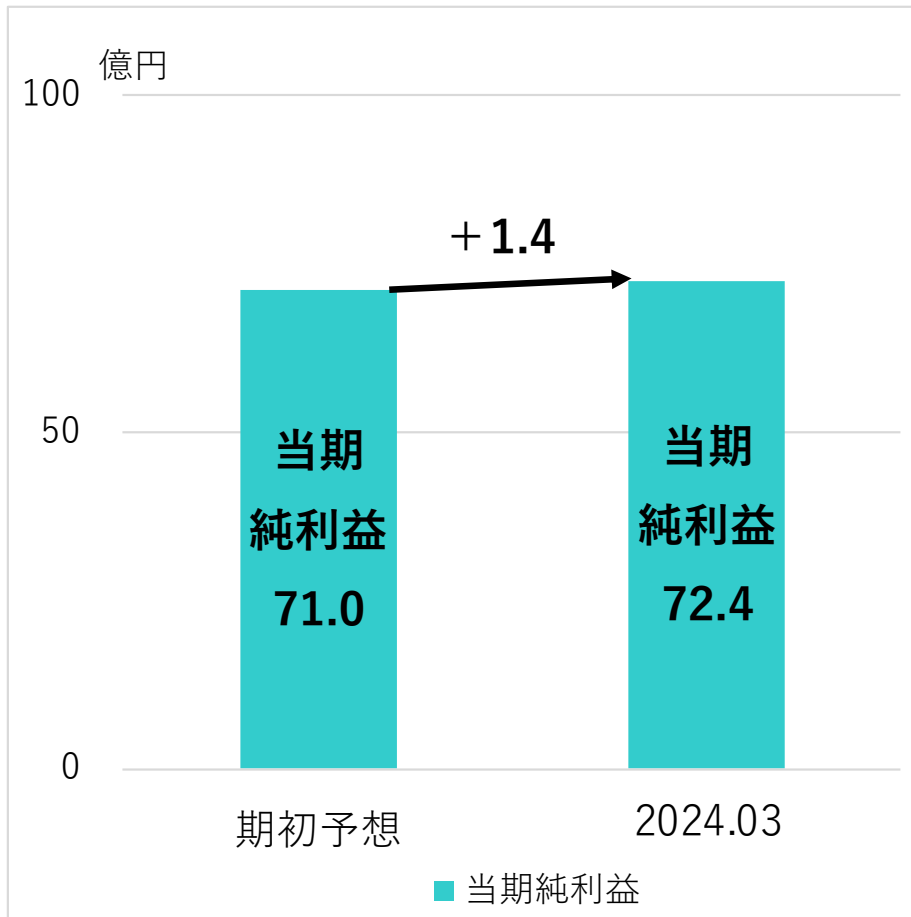
- 完成工事総利益率は概ね12%以上を確保
- 営業利益率は7%以上を安定的に確保



6) 当期純利益

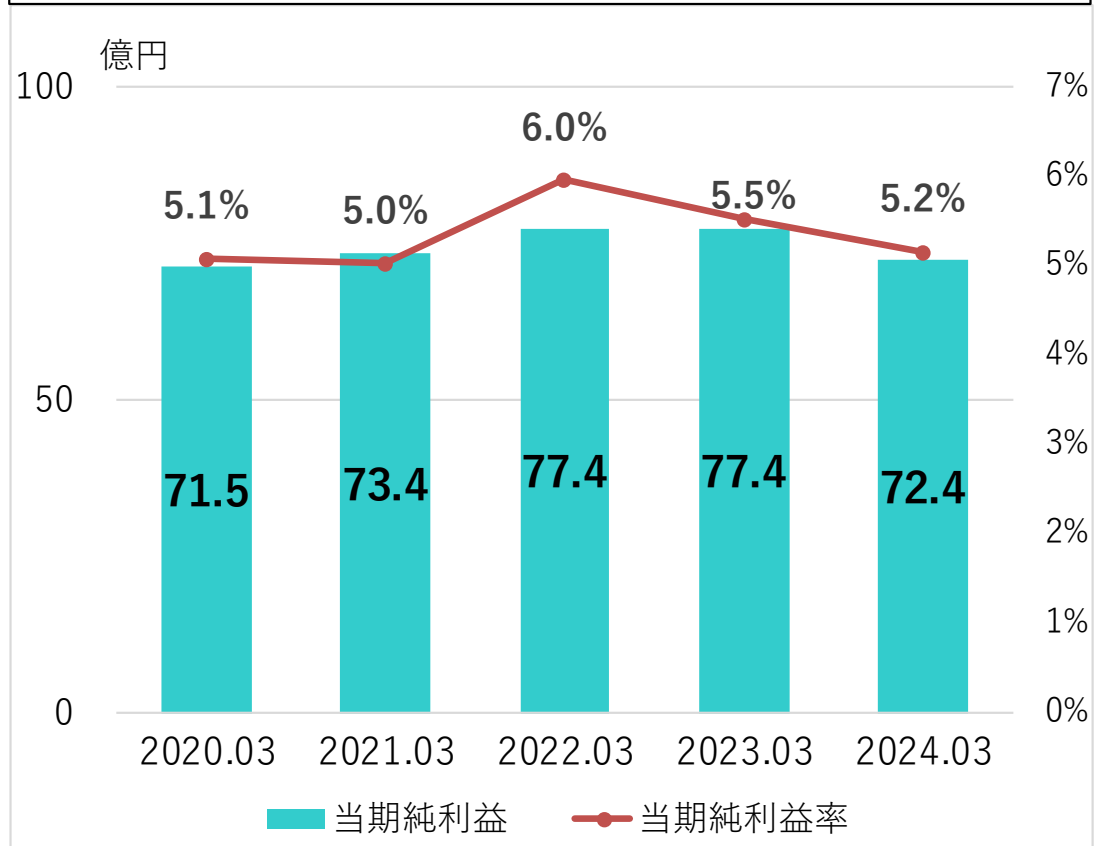
➤ 特別利益の増加および法人税等の減少により、当期純利益は期初予想を上回る

期初予想対比



5力年推移

➤ 当期純利益率は5%以上を安定的に確保

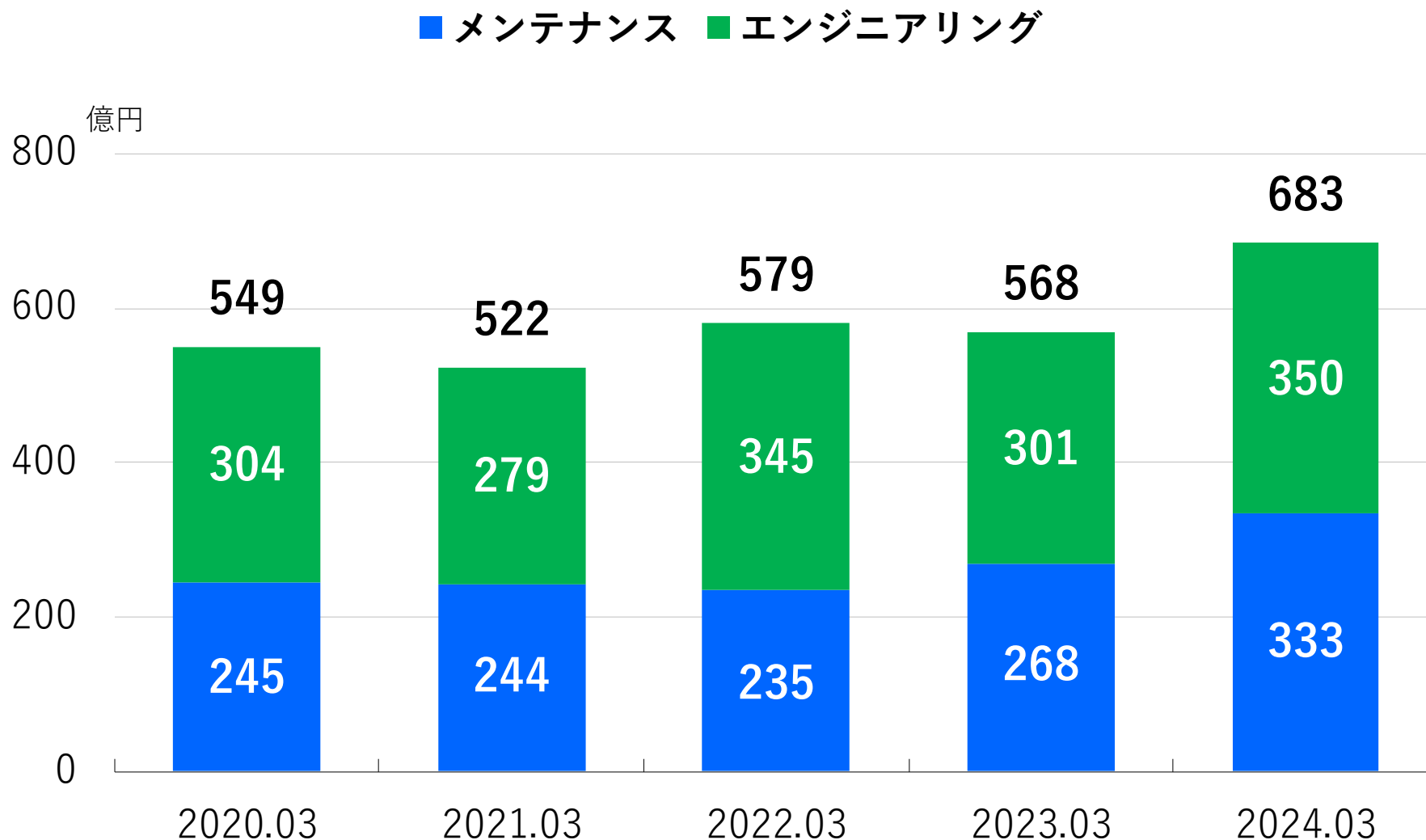


特記事項

①上図のグラフの2020.03の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いた当期純利益である。

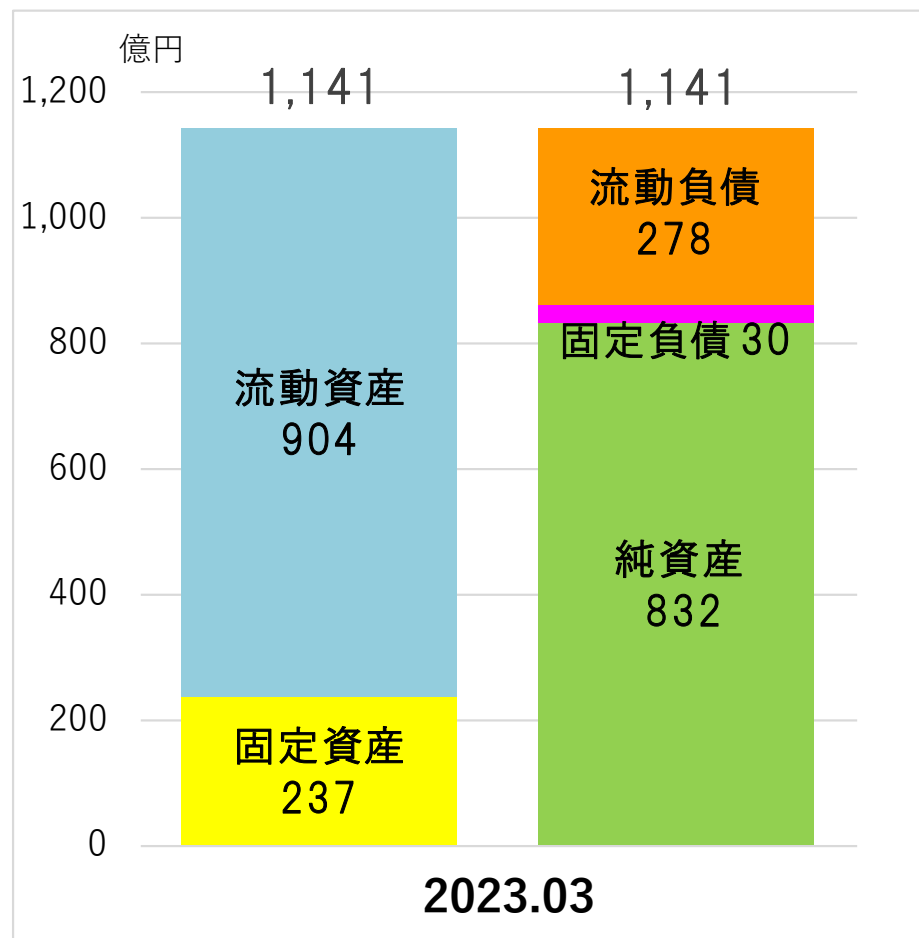
7) 受注残高

- メンテナンスは2024年度完工分の受注計上により前期比で増加、エンジニアリングは大型工事の受注計上により前期比で増加

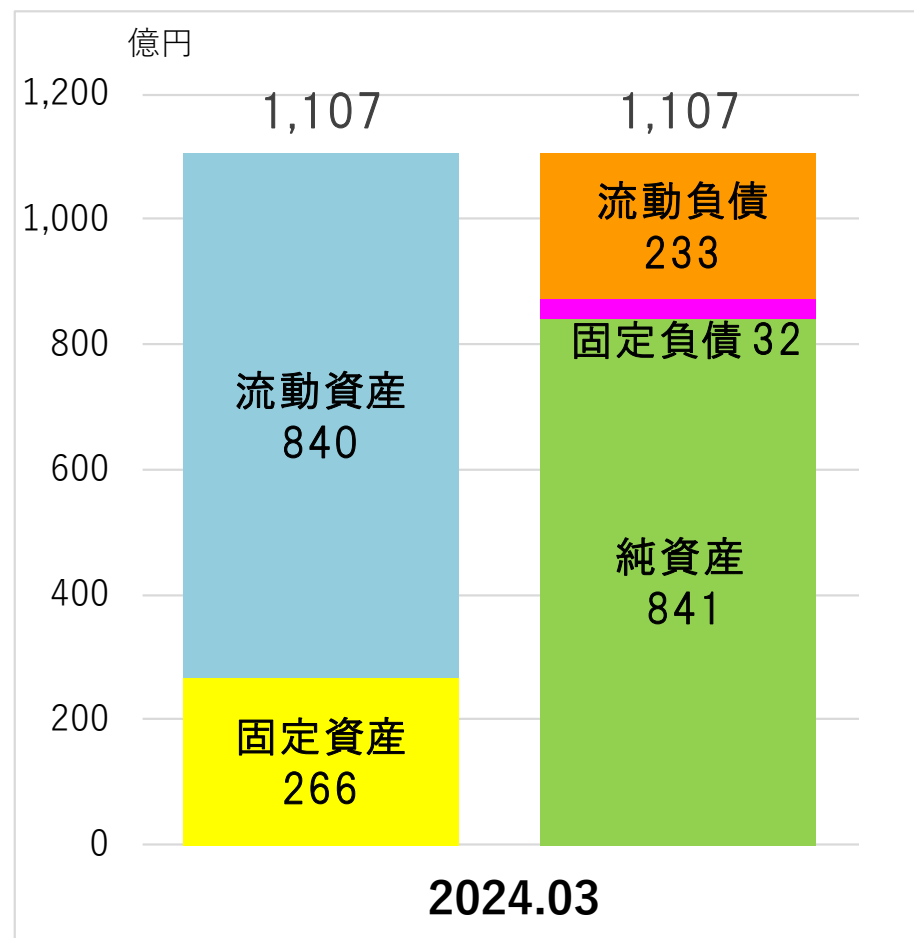


8) 貸借対照表

- 資産の部 . . . 流動資産で現金及び預金、完成工事未収入金等が減少
- 負債の部 . . . 流動負債で工事未払金等が減少
- 自己資本比率は75.2%、ROE（自己資本当期純利益率）は8.7%



自己資本比率 : 72.2%
ROE : 9.6%



自己資本比率 : 75.2%
ROE : 8.7%

3. 2025年3月期業績見通し

1) 業績見通し

- 受注高は前期より減少、完成工事高および総利益は前期より増加
- 営業利益、経常利益および当期純利益は前期より減少

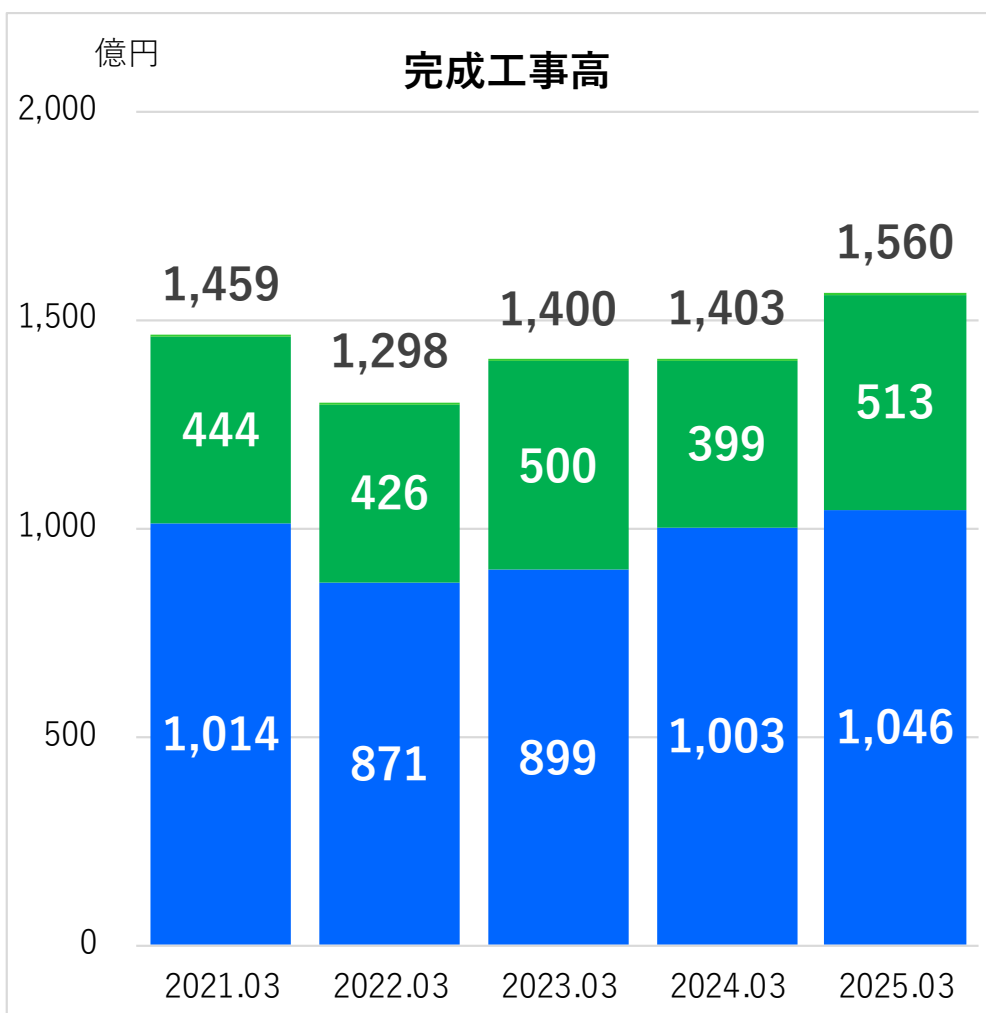
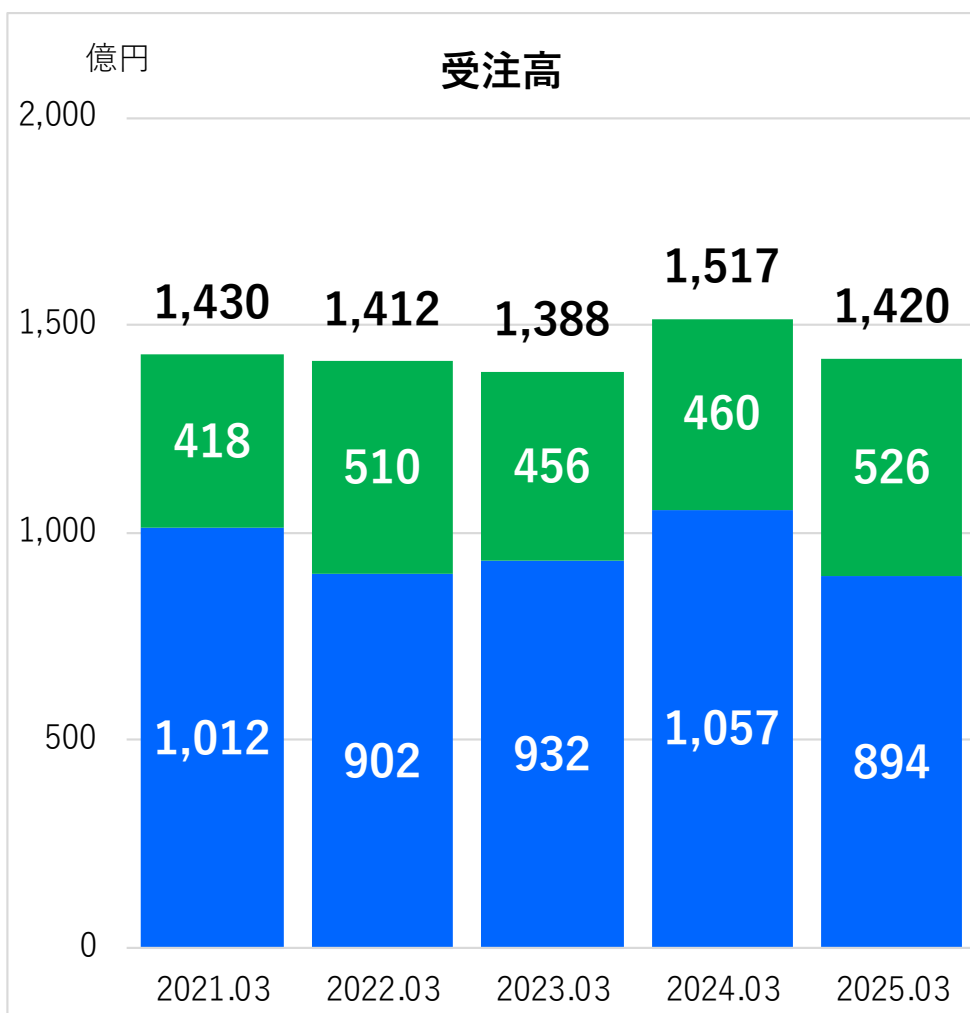
(単位：億円)

	中 間 期				通 期			
	2023.09 実績	2024.09 予想	増減	増減率	2024.03 実績	2025.03 予想	増減	増減率
受 注 高	670	705	+35	+5.2%	1,517	1,420	-97	-6.4%
完 成 工 事 高	702	710	+8	+1.1%	1,403	1,560	+157	+11.2%
完成工事総利益	78.5	73.0	-5.5	-7.0%	172.0	177.5	+5.5	+3.2%
(率)	11.2%	10.3%	-0.9%	-	12.3%	11.4%	-0.9%	-
販 管 費	36.6	43.0	+6.3	+17.2%	72.3	84.0	+11.6	+16.1%
(率)	5.2%	6.1%	+0.9%	-	5.2%	5.4%	+0.2%	-
営 業 利 益	41.9	30.0	-11.9	-28.4%	99.6	93.5	-6.1	-6.1%
(率)	6.0%	4.2%	-1.8%	-	7.1%	6.0%	-1.1%	-
経 常 利 益	43.6	30.5	-13.1	-30.0%	102.6	95.0	-7.6	-7.4%
(率)	6.2%	4.3%	-1.9%	-	7.3%	6.1%	-1.2%	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	28.6	21.0	-7.6	-26.6%	72.4	66.5	-5.9	-8.1%
(率)	4.1%	3.0%	-1.1%	-	5.2%	4.3%	-0.9%	-
1株当り当期(中間)純利益	53.02円	38.87円	-14.14円	-26.7%	134.20円	123.10円	-11.10円	-8.3%
受 注 残 高	537	679	+142	+26.4%	683	544	-139	-20.4%

2) 受注高および完成工事高

- 受注高は、メンテナンスは2025年度の定期修理工事の工事量が少ないため、前期より減少の予想、エンジニアリングは前期より増加の予想
- 完成工事高は、メンテナンスは定期修理工事のピークにあたるため増加、エンジニアリングも前期より増加の予想

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



3) 2024年3月期配当予定および2025年3月期配当予想

2024年3月期配当予定

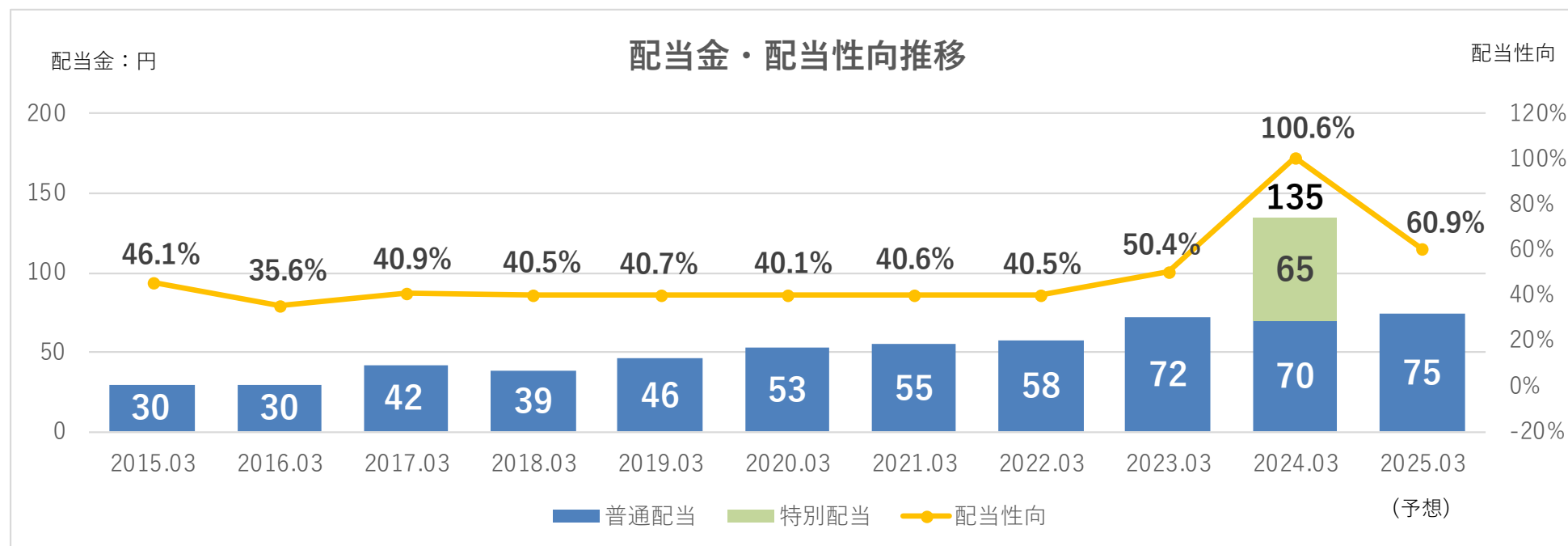
期末配当 105円（普通配当40円、特別配当65円）

連結配当性向 100.6%（普通配当70円、特別配当65円）

2025年3月期配当予想

年間配当 75円（中間配当 35円、期末配当 40円）→ 普通配当ベースでは増配の予想

連結配当性向 60.9%（普通配当75円）



注) 上図のグラフの2020.03の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いて算出している。

第2次中期経営計画 (2023年度進捗について)

経営数値目標

第2次中期経営計画の最終年度の目標と見通し

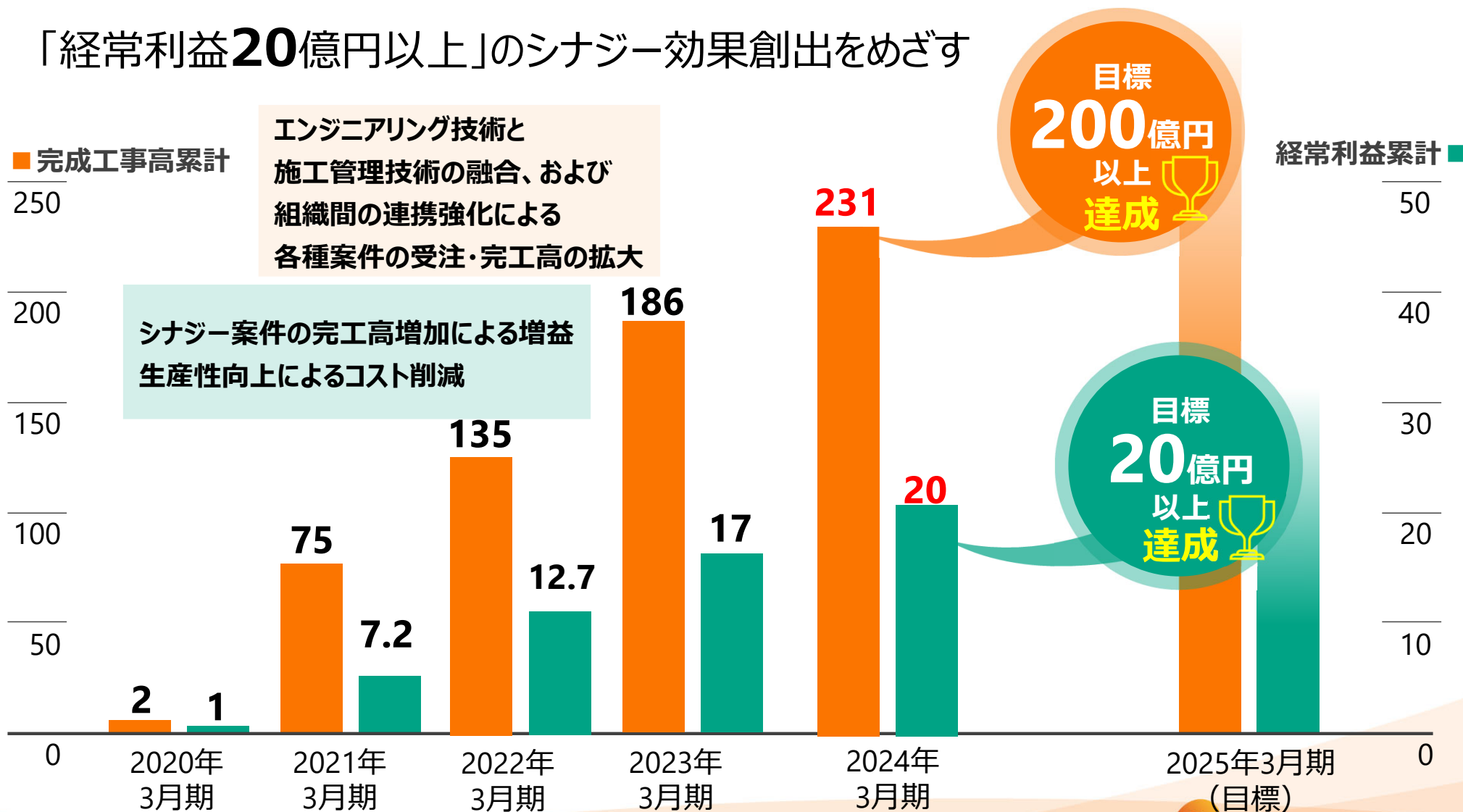
(連結)	項目	2023年度実績 (2024年3月期)	第2次中期経営計画 における2024年度目標 (2025年3月期)	2024年度予想 (2025年3月期)
業績目標	完成工事高	1,403億円	1,450億円	1,560億円
	営業利益（利益率）	99億円 (7.1%)	105億円 (7.2%)	93億円 (6.0%)
	親会社株主に帰属する 当期純利益（利益率）	72億円 (5.2%)	70億円 (4.8%)	66億円 (4.3%)
経営指標 の目標値	自己資本当期純利益率 (ROE)	8.7%	8%以上	8.1%
	連結配当性向	100% (記念配当含む)	40%以上	60%

- ・完成工事高は、中計目標を大きく上回る
- ・2024年度は、営業利益、純利益は中計目標を下回る
- ・株主還元充実のため連結配当性向は、中計目標40%以上から60%以上へ見直し

シナジー効果（実績と目標）

第1次・第2次中期経営計画期間に累計額で「完成工事高**200**億円以上」

「経常利益**20**億円以上」のシナジー効果創出をめざす



経営基盤の強化と各事業戦略



メンテナンス事業の強化

- 全社生産計画システムの効果的運用
- 協力会社ネットワークの強化と動員力維持



エンジニアリング事業の強化

- 事業遂行体制と技術力のさらなる強化
- 再生可能エネルギー等の新規分野における受注拡大



タンク事業の強化

- 全社的運営体制のさらなる強化と協力会社の体制強化
- 水素貯蔵タンクの設計・施工技术の調査・検討

- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



経営基盤の強化

- グループ全体のガバナンス体制強化
- 時間外労働上限規制・新しい働き方への対応
- 人材の確保と育成
- CSR活動およびSDGsを含めたESG経営
- DXの推進
- シナジー効果の創出

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



メンテナンス事業の強化

- 全社生産計画システムの効果的運用
- 協力会社ネットワークの強化と動員力維持
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



- 全体最適を目的とした組織統合による機動的な人員配置
- 顧客および協力会社との適切な単価設定
- 石油元売会社／化学メーカーにおける大規模な定修工事や新たな工場への参入
- 日常保全工事／定期修理工事の新規エリア参入達成
- 各種技術開発（熱交換器自動洗浄設備、無火気配管切断、各種メンテナンス業務のDX化）

メンテナンス事業の強化

プラントメンテナンス



プラントが動いている限り
メンテナンスは必要不可欠



プラントのメンテナンスには
専門的な技術力が必要



長年にわたる指揮経験



全国の協力事業者のネットワーク

迅速かつ安全に、
高品質なメンテナンスを実現

メンテナンス事業が当社の安定的な収益の柱

今後 DX、ICT 化により労働生産性の向上を推進

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



エンジニアリング事業の強化

- 事業遂行体制と技術力のさらなる強化
- 再生可能エネルギー等の新規分野における受注拡大
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



- カーボンニュートラル社会に向けた新たな分野の工事受注
 - 新規メガソーラー発電所の継続工事
 - **グリーンアンモニア製造プラントの建設工事**
 - **半導体製造周辺の高機能化学品製造プラントの積極受注**
- 閉鎖製油所の将来に向けた基盤整備工事（無害化工事/設備撤去工事）の受注
- **顧客の新規事業の実現に向けた協働**
- 非鉄金属分野での新設・改造工事の継続受注
- **カーボンニュートラル案件の受注増加**
 - 2020年度 8.7億円(1.2%※)
 - 2023年度 51.6億円(11.3%※)

※当社エンジニアリング受注額におけるカーボンニュートラル案件の割合

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



タンク事業の強化

- 全社的運営体制のさらなる強化と協力会社の体制強化
- 水素貯蔵タンクの設計・施工技術の調査・検討
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



- タンク生産管理システムを改善し、事業遂行体制を強化
→タンク技術者のリソースを社内で共有し、稼働率の向上による受注高・収益の向上
- 水素・アンモニアの社会実装に必要な低温タンクの設計・施工技術習得に向けた施策検討
- 未参入の石油備蓄会社、石油精製会社のタンク工事を新規受注

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



経営基盤の強化

- グループ全体のガバナンス体制強化
- 時間外労働上限規制・新しい働き方への対応
- 人材の確保と育成
- CSR活動およびSDGsを含めたESG経営
- DXの推進
- シナジー効果の創出



- サステナビリティ経営推進のため、**ESGデータやGHG排出量削減目標（Scope1&2）を開示**
- **ワークライフバランスの向上**
→ 育児休業、配偶者出産休暇、子の看護休暇
取得者の増加
- **働きやすい職場環境実現のための取り組み継続**
- 2024年時間外労働上限規制への対応
→ 1年前倒しでの達成を目指した取り組み実施
→ 派遣監督の増員/定修業務の標準化による
業務効率向上
- 技術系社員の中長期教育プランを実施

この資料には、2024年5月22日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8
経営企画部 業績・IRグループ
TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120
E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp
URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社